

2023年6月5日

2023年3月期 通期決算説明 補足資料

【東証スタンダード・名証メイン/4247】



ポパール興業株式会社

目次

- ① 会社概要
- ② 事業内容
- ③ 決算概要
- ④ 2024年3月期計画
- ⑤ 経営計画

1 会社概要

- (1) 社是・経営理念・経営方針
- (2) 会社現況
- (3) 営業所
- (4) 生産拠点
- (5) 業績推移

(1) 社是・経営理念・経営方針

社是

企業は永遠なり、企業は魅力なり

経営理念

私たちは、常に新しいサムシングを求め
現場視点でものづくりを発想し
チャレンジし続けることで進化していきます

経営方針

深い共感力と接着加工、素材加工、機械設計を駆使し
顧客の真のニーズを知り、応えるソリューション
ビジネスをグローバルに展開していきます

(2) 会社現況

2023年3月31日現在

会社設立	1964年11月2日
本社所在地	愛知県名古屋市中村区野田町字中深30番地
資本金	1億7,960万円
代表者	代表取締役社長 松井 孝敏
事業内容	総合接着・樹脂加工事業、特殊設計機械事業
関連会社	国内3社、海外3社
従業員数	正社員200名（単体112名）
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場 名古屋証券取引所 メイン市場（証券コード：4247）
発行済株式総数	2,634,800株
単元株数	100株

(3) 営業所

本社 名古屋営業所

名古屋市中村区野田町字中深30番地



博宝楽輸送帯科技 (昆山) 有限公司 中国

2011年9月設立



POVAL KOGYO (THAILAND) CO.,LTD.

タイ

2004年8月設立



東京営業所

東京都千代田区九段南3丁目7番14号
VORT九段4階



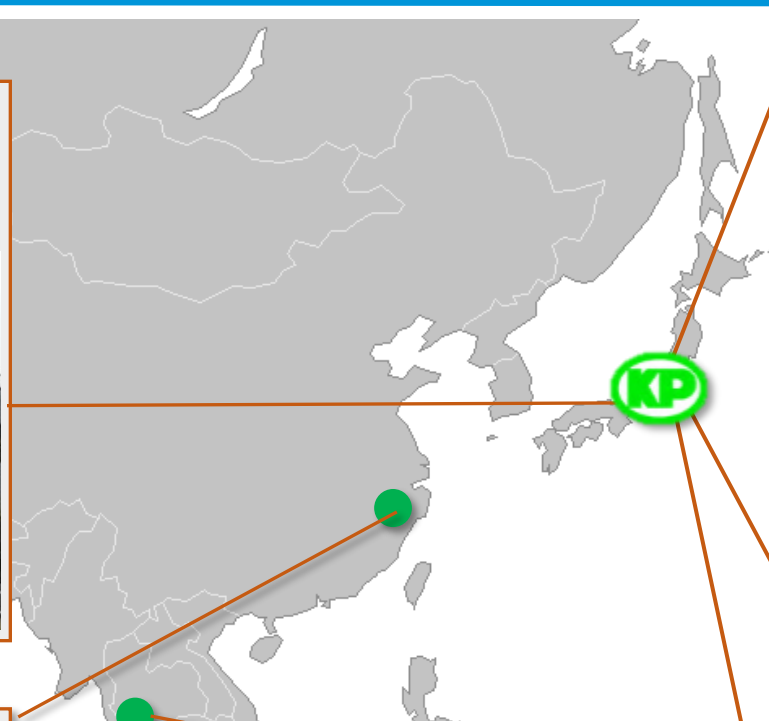
大阪営業所

大阪府大阪市
港区市岡元町
2丁目16番15号



福岡営業所

福岡県古賀市今の庄1丁目5番38号



(4) 生産拠点

博宝楽輸送帯科技 (昆山) 有限公司
中国 (ベルト・研磨)
2011年9月設立

POBAL DEVICE KOREA CO.,LTD
韓国 (研磨)
2006年4月設立

POVAL KOGYO (THAILAND) CO.,LTD.
タイ (ベルト・その他)
2001年11月設立

大安工場
(ベルト・研磨・その他 (不織布))
三重県いなべ市大安町片樋字新起
2246番地

本社工場
(ベルト・研磨・その他 (発泡ウレタン))
名古屋市中村区野田町字中深30番地

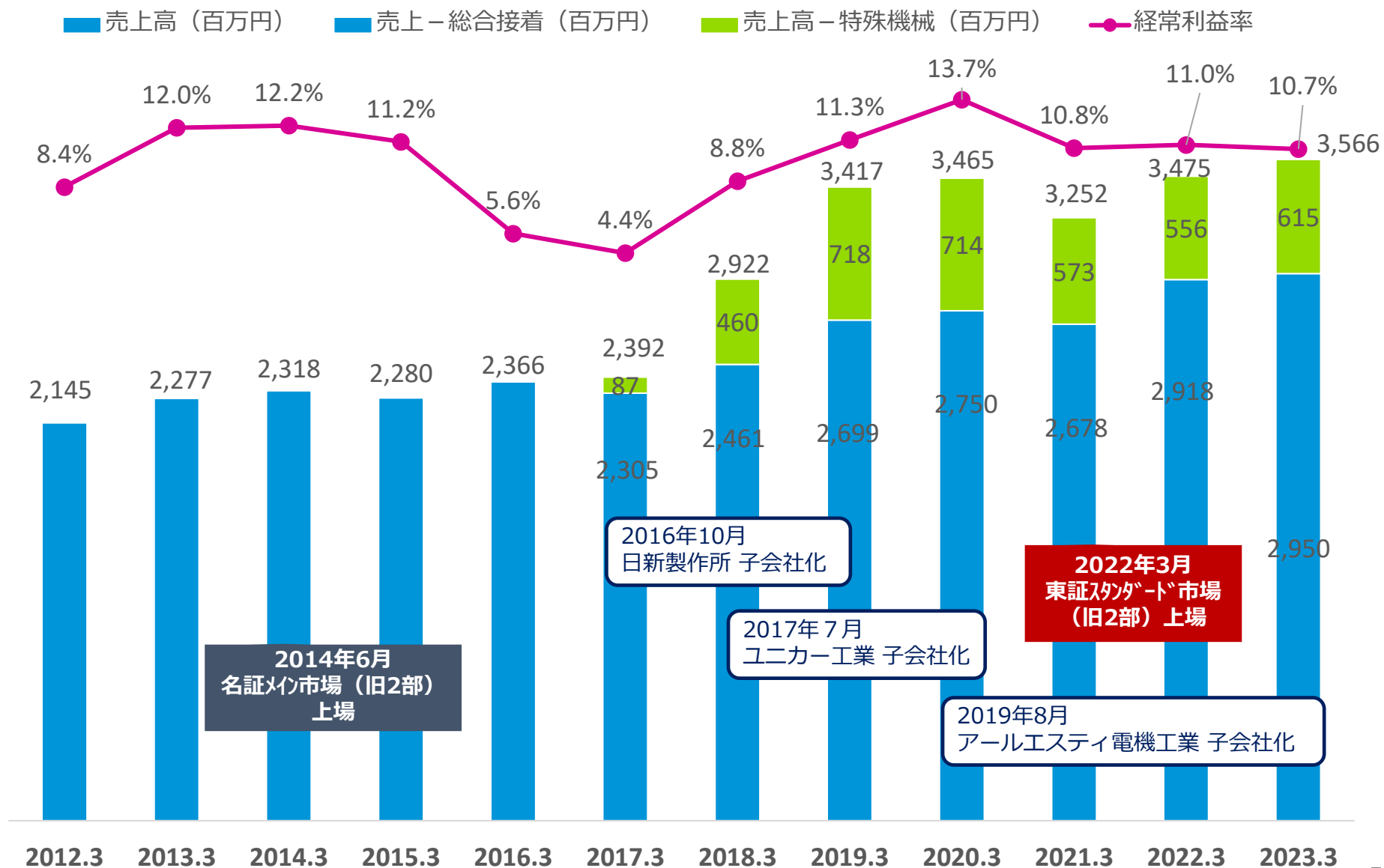
(株)日新製作所
大阪(特殊設計機械)
2016年10月子会社化

ユニカー工業(株)
大阪(特殊設計機械)
2017年7月子会社化

(株)アールエスティ電機工業
大阪(特殊設計機械)
2019年8月子会社化

(株)RST電機工業

(5) 業績推移



2 事業内容

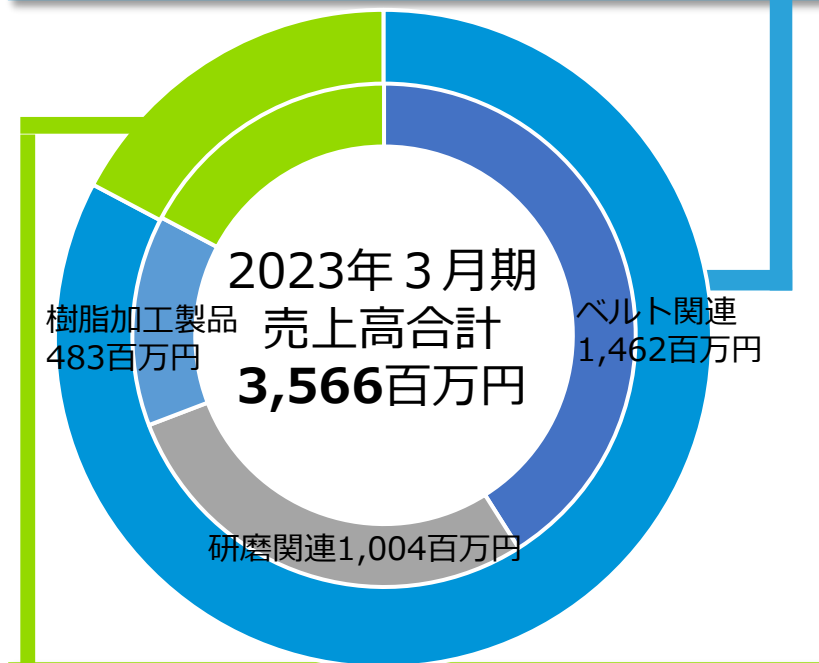
(1) 事業構成

(2) 製品紹介

(3) 当社強み

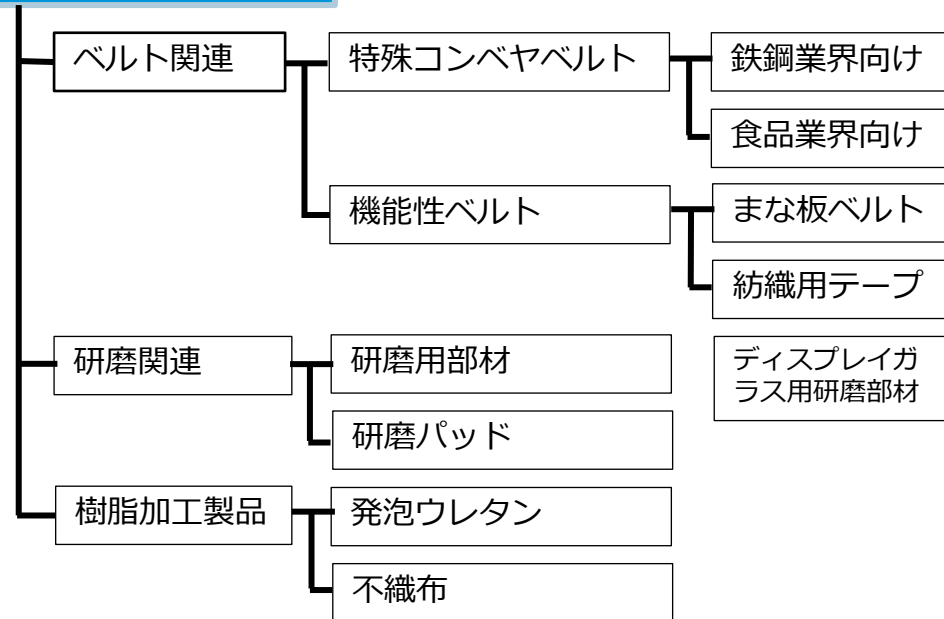
(1) 事業構成

総合接着・樹脂加工事業
2,950百万円 82.7%



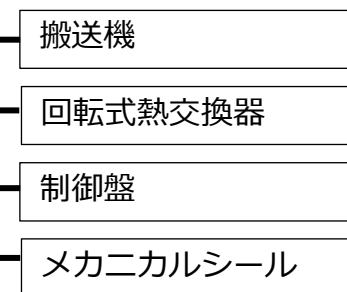
特殊設計機械事業
615百万円 17.3%

総合接着・樹脂加工事業



特殊設計機械事業

(設計・製造・メンテナンス)



(2) 製品紹介①

【鉄鋼用ベルト】

(用途) 高温の鉄鋼製品の傷防止用受け、金属部品の熱処理・徐冷工程等で使用

(特性) 耐熱 耐寒性、クッション性や製品を傷つけないことが要求される



【食品用ベルト】

(用途) 衛生管理が厳しい食品業界で、食品や食品機械のコンベアベルトに使用

(特性) 抗菌・防カビ、洗浄のしやすさと洗浄しても劣化しない耐久性が要求される。異物混入防止のため、ベルト両端にウレタン溶着し耳ホツレの防止にも対応



(2) 製品紹介②

【搬送機】

- ・電動機などで駆動されるプーリーまたは歯車にチェーンやベルトなどをかけた運搬装置



【回転式熱交換器】

- ・主に食品業界にて使用され、ポンプで圧送できる原材料であれば、加熱・冷却・攪拌・混練・固化が可能



(3) 当社の強み

1 3つのコア技術

- ・ 素材選定技術
- ・ 接着技術
- ・ 樹脂加工技術

- ・ 顧客の現場課題解消を通じ、既存設備の構成品を当社製品へ**置換え**
- ・ その後は市況に左右されることなく消耗の都度の安定供給を維持する

2 ソリューション

- ・ セールスエンジニア
- ・ カスタマイズ
- ・ 価格優位性

- ・ 顧客要望(少量、短納期、要求品質、低コスト等)に応じてカスタマイズ
- ・ ニッチで特殊な製品分野を**差別化**
⇒参入障壁の形成、高付加価値化
および価格の優位性を構築する

3 周辺領域の事業化

- ・ 不織布、発泡ウレタン
- ・ 研磨関連
- ・ 特殊設計機械

- ・ 樹脂ベルト事業を基幹とし周辺領域へ段階的に事業拡張する**裏張り経営**
- ・ 既存の経営リソースの有効活用と事業拡張リスクの最小化を実現する

(3) 当社の強み～ 3つのコア技術とは

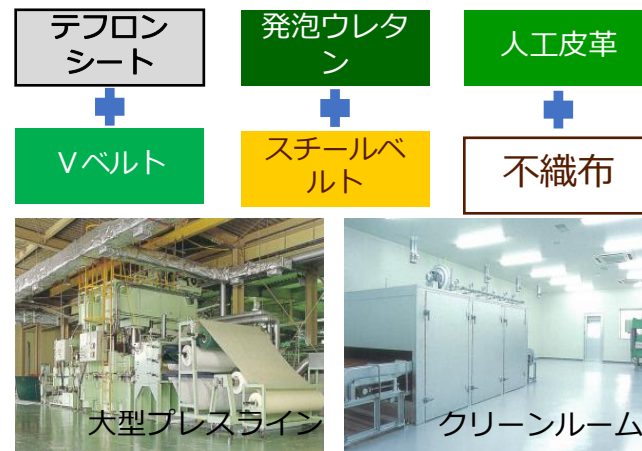


素材選定技術

- 各種素材の中から 製品の性能、用途、使用環境など、目標特性を最大限に引き出す“最適な素材組合せ”を提案

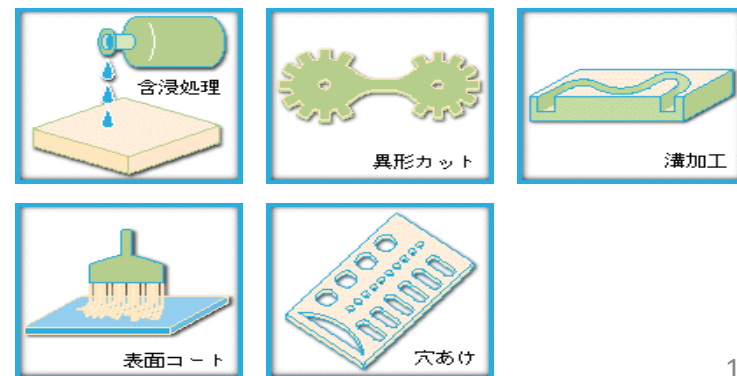
接着技術

- 高度な接着技術で異種素材を結合
- ①日本最大級の汎用大型プレスライン
⇒大型製品でも歪みなく均一に接着
- ②クリーンルーム
⇒ゴミ・糸くずのない環境で高品質な接着
- ③精密接着ライン
⇒厚み精度を大幅に向上させた接着
- ④独自技術により、使用後の部材再利用を考慮したリサイクル接着が可能



樹脂加工技術

- 顧客要望に一つ一つ丁寧に対応し 熟練した加工技術、技能で製品化
- ミクロン単位の超高精度な切削加工、製品形成・部品取付・特殊機能の付加など高度な技術を統合しながら製造



(3) 当社の強み～ソリューション営業とは

セールス エンジニア

現場の技術課題に加え、お客様の潜在ニーズや取引上のあらゆる要望に対して当社の経験豊かな営業マンは具体的な解決策をご提案することができます。

カスタマイズ (差別化)

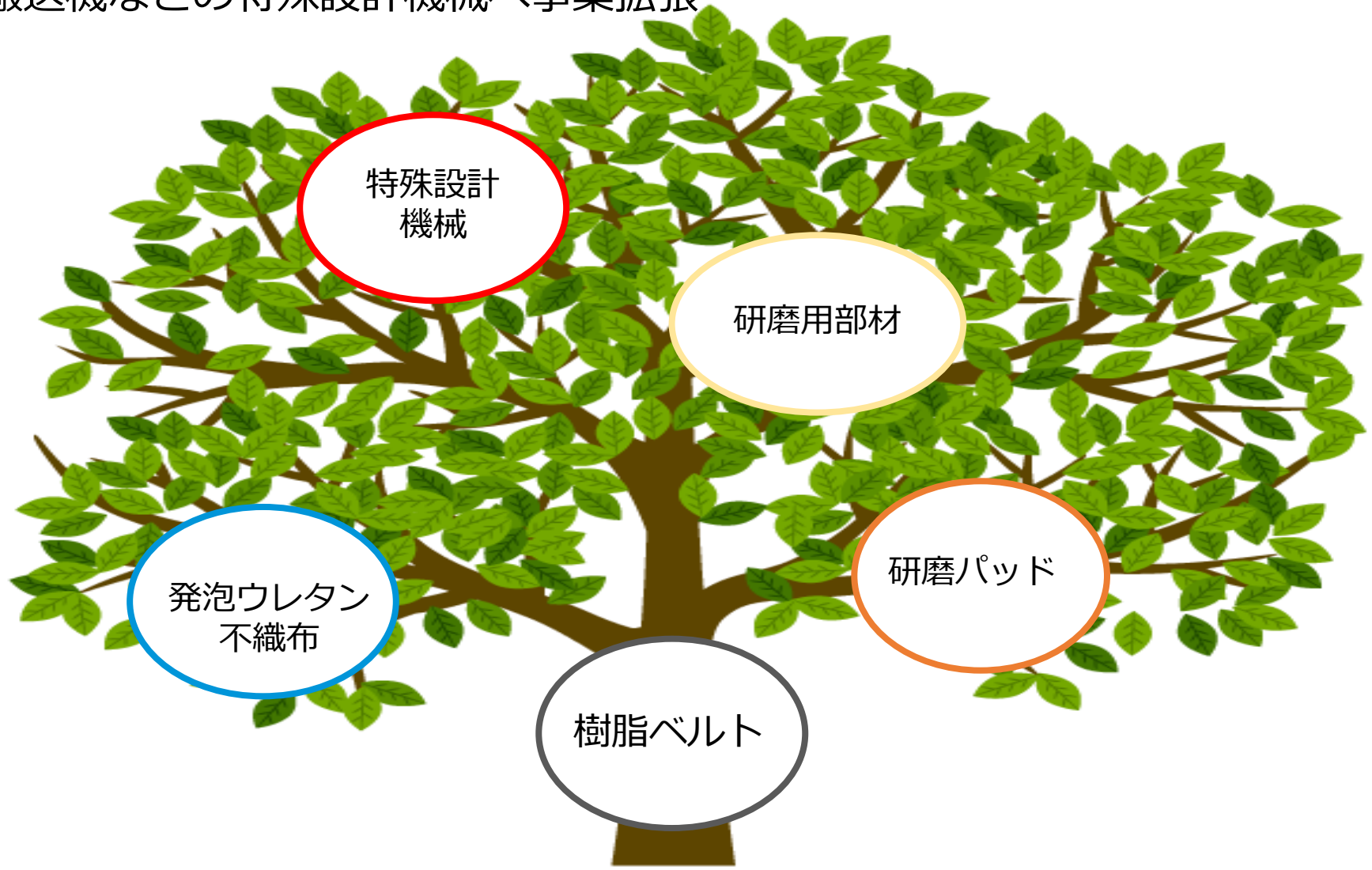
既製品では対応できない特殊用途、短納期・多品種少量発注、高品質、低コスト化要請など、お客様からの様々なご要望に対して一つ一つ個別に対応し、カスタマイズによって解決を図ります。(=ポータル スペシャル)
またメンテナンス、アフターフォローも含めた取引全体を通じて高付加価値化を目指しております。

価格優位性

特殊用途を可能にするコア技術、顧客要望に丁寧に応える対応力が差別化・高付加価値化をもたらし、価格優位性の確保につながります。

(3) 当社の強み～周辺領域の事業化とは

樹脂ベルト事業で培った技術を核にして、研磨関連、樹脂加工製品及び搬送機などの特殊設計機械へ事業拡張



3 決算概要

- (1) 2023年3月期通期決算概要
- (2) トピックス

(1) 2023年3月期通期決算概要 〈連結〉

単位：百万円

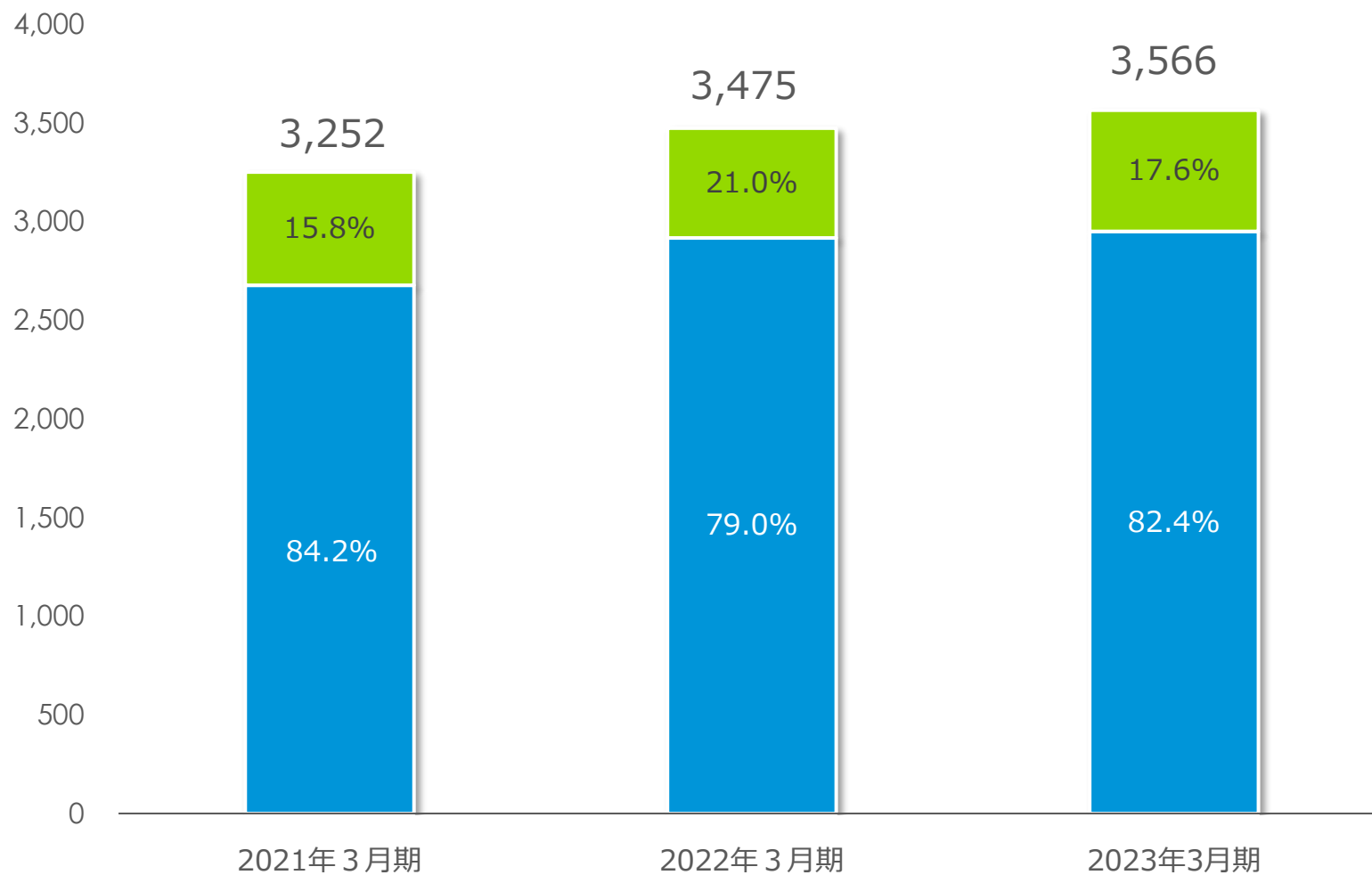
	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年3月期			
	通期	通期	通期			
			2023年3月期 実績	当初予想 (5/13発表)	対前期	対予想
売上高	3,252	3,475	3,566	3,573	102.6	99.8
営業利益 (営業利益率)	322 (9.9%)	370 (10.7%)	368 (10.3%)	403 (11.3%)	99.5	91.3
経常利益 (経常利益率)	349 (10.8%)	380 (11.0%)	383 (10.7%)	435 (12.2%)	100.7	87.9
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	211 (6.5%)	279 (8.1%)	256 (7.2%)	303 (8.5%)	91.5	84.4
						単位：円
一株あたり配当	30.0	35.0	36.0	36.0	+1.0	-
配当性向 (%)	37.3	33.0	37.0	-	-	-

(1) 売上高

(百万円)

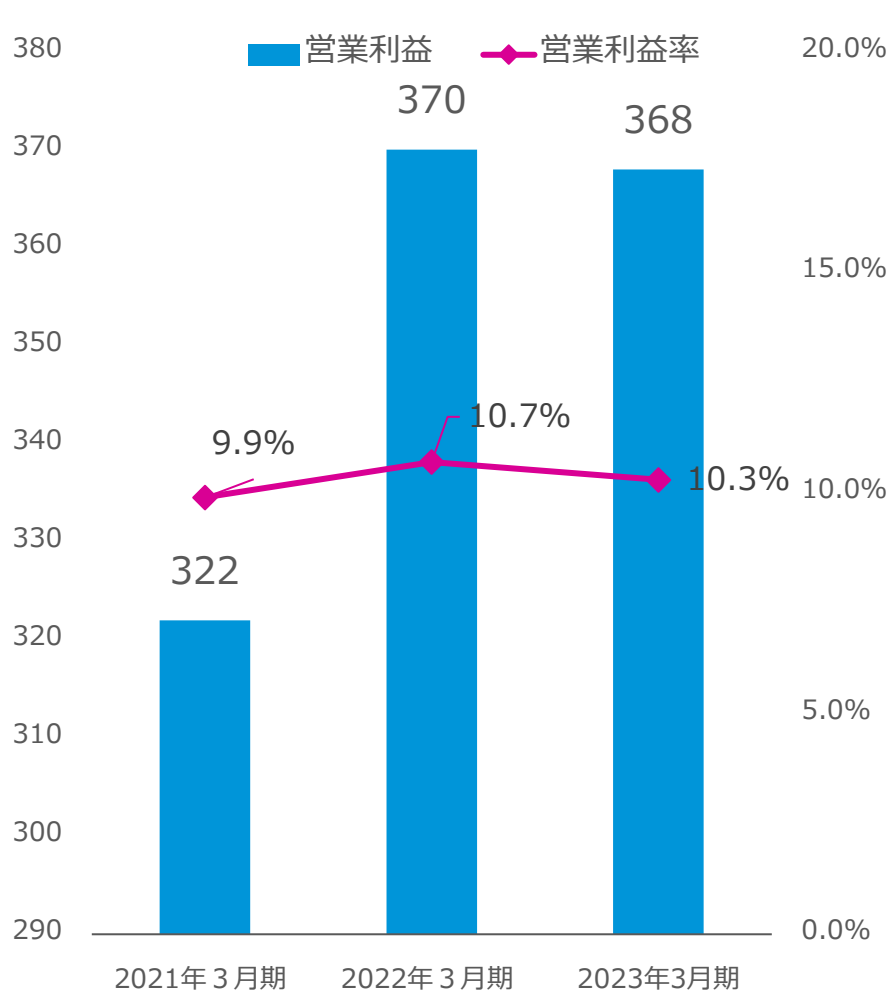
■ 売上－特殊設計機械

■ 売上－総合接着樹脂加工

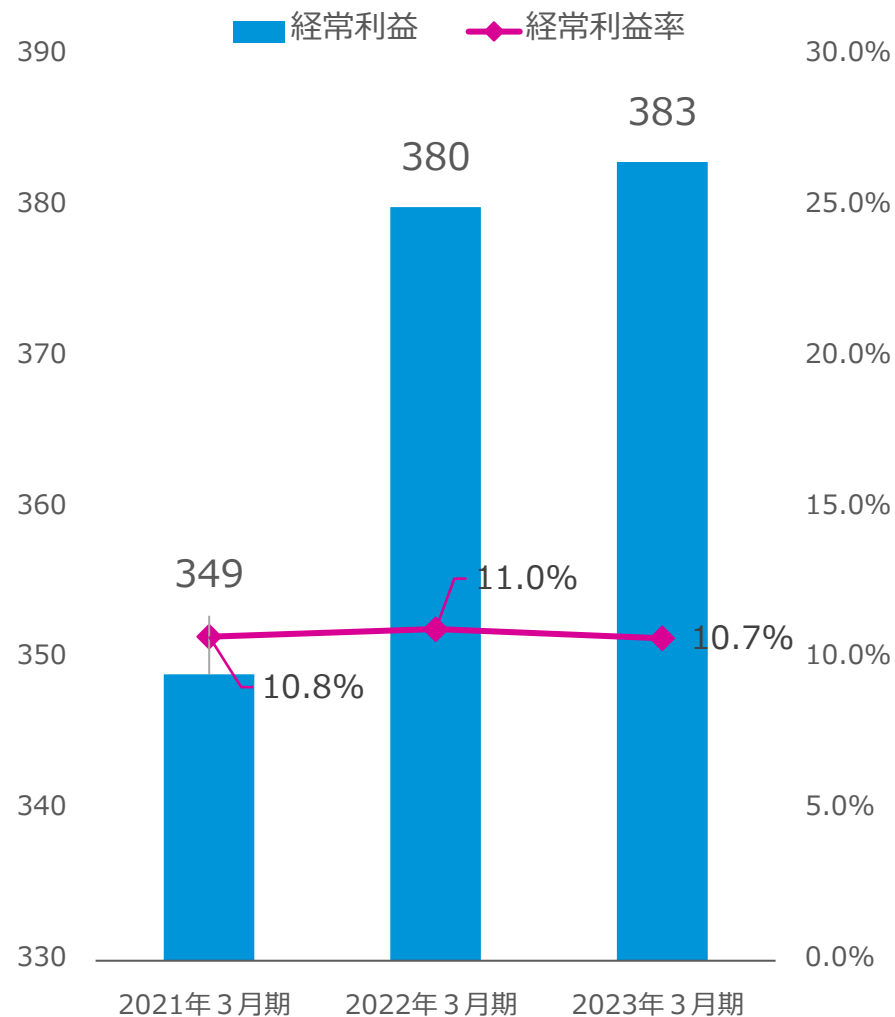


(1) 営業利益・経常利益

営業利益(百万円)

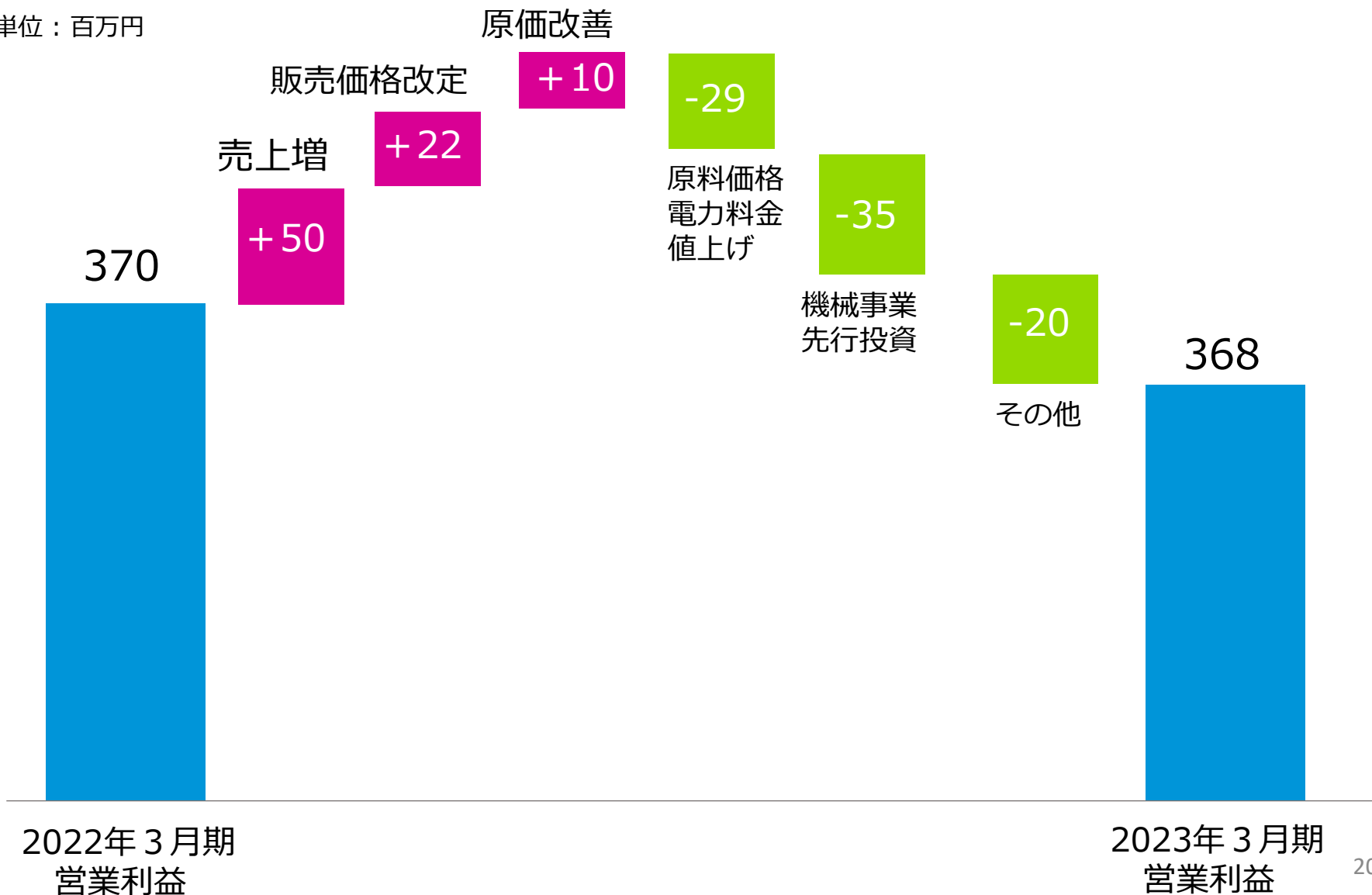


経常利益(百万円)



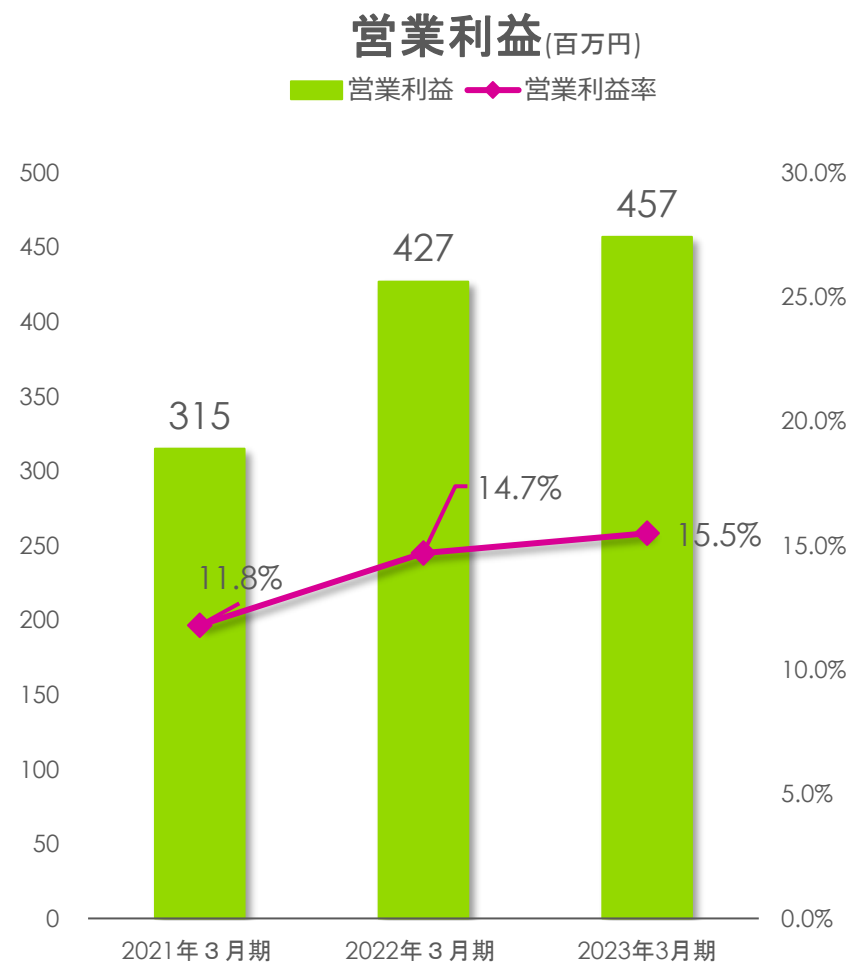
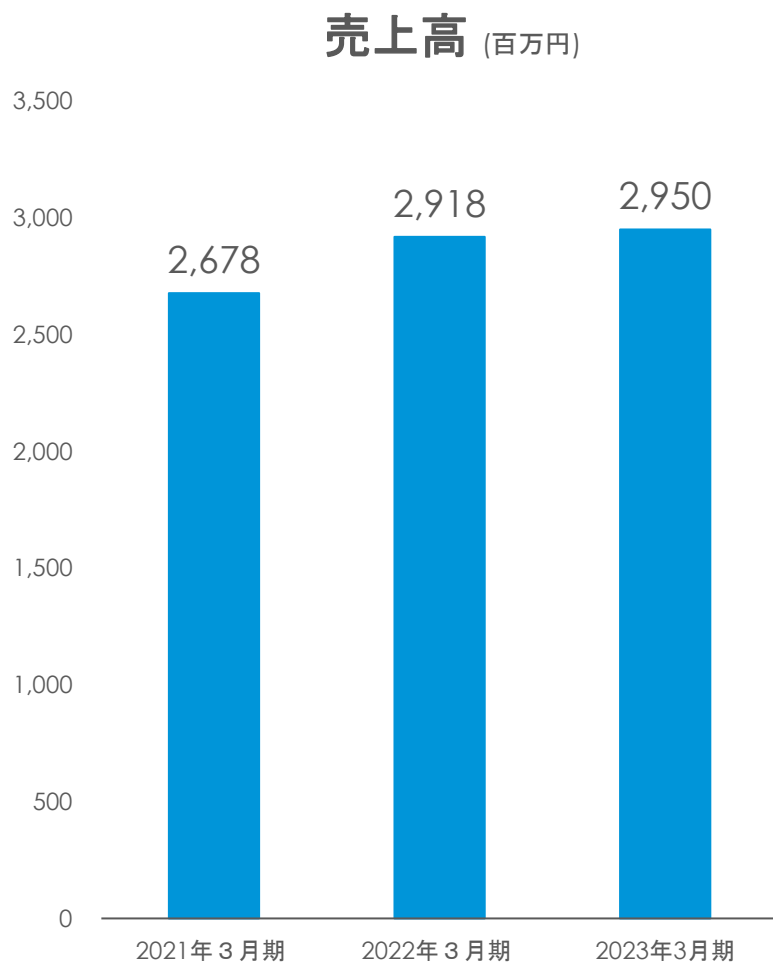
(1) 営業利益 増減要因

単位：百万円



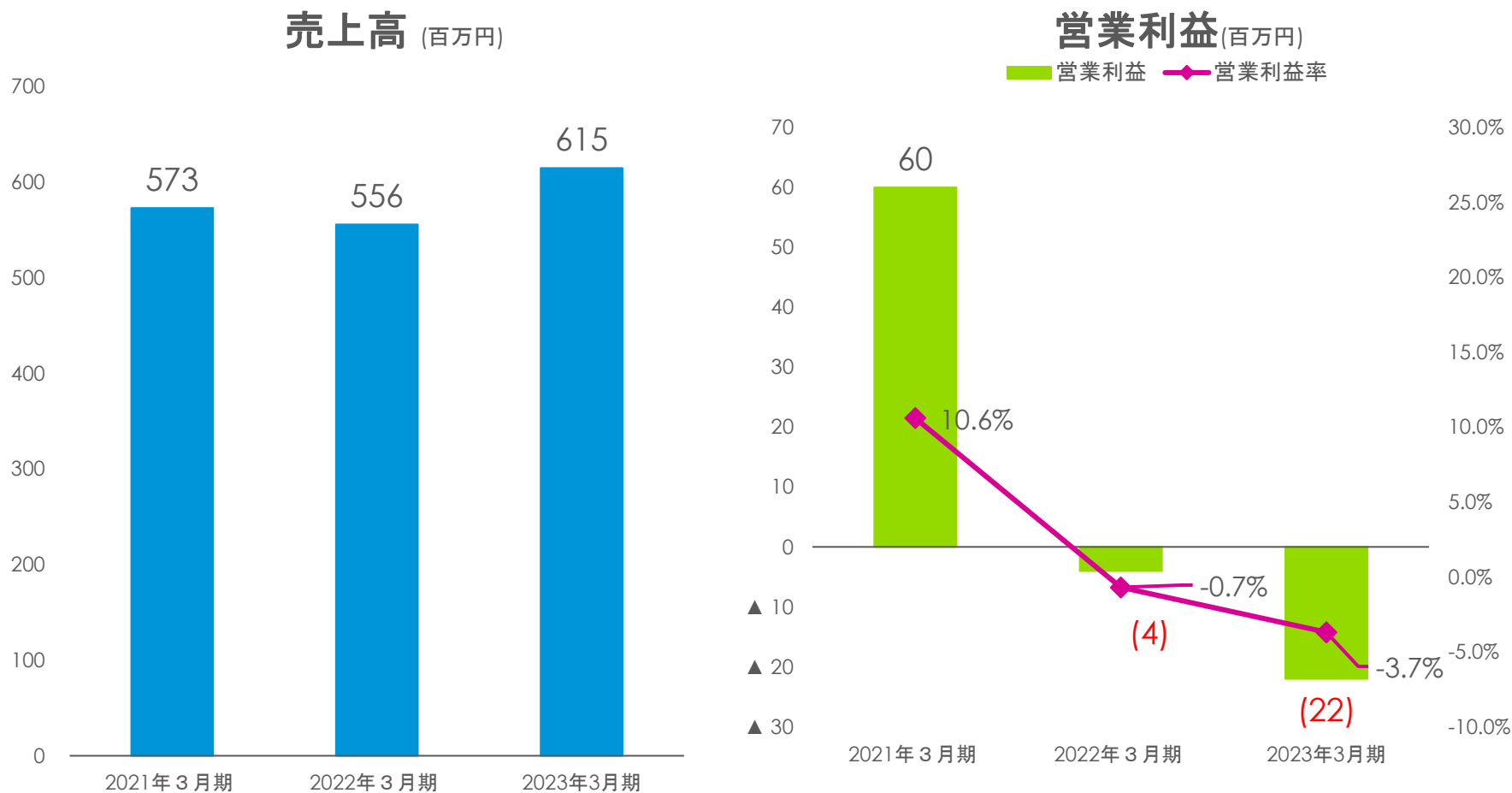
(1) セグメント別状況（総合接着・樹脂加工事業）

▶ ベルト関連製品は自動車・鉄鋼業界を中心に底強く推移



(1) セグメント別状況（特殊設計機械事業）

➤ 食品工場向けの需要が回復傾向で推移



(2) トピックス

人的資本経営の取組み

① 営業部外部研修

2022年5月開始
計5回実施
2022年11月完了



② 採用強化

新卒・中途採用への強化

IRへの取組み強化

① 株主優待拡充



2022年11月に
株主優待拡充を発表

② 積極的なIR活動

2024年3月期も継続的に実施予定

開催日・予定日	場所	主催・セミナー名	内容
2022年5月16日	オンライン	みんなの説明会	2022年3月期決算説明会
2022年8月26.27日	オンライン・対面	日経IR・個人投資家フェア	個人投資家に向けての説明
2022年9月9.10日	対面	名証IR EXPO	

4 2024年3月期 予想

- (1) 2024年3月期業績予想
- (2) 重点項目
- (3) 配当政策・株主優待

(1) 2024年3月期業績予想

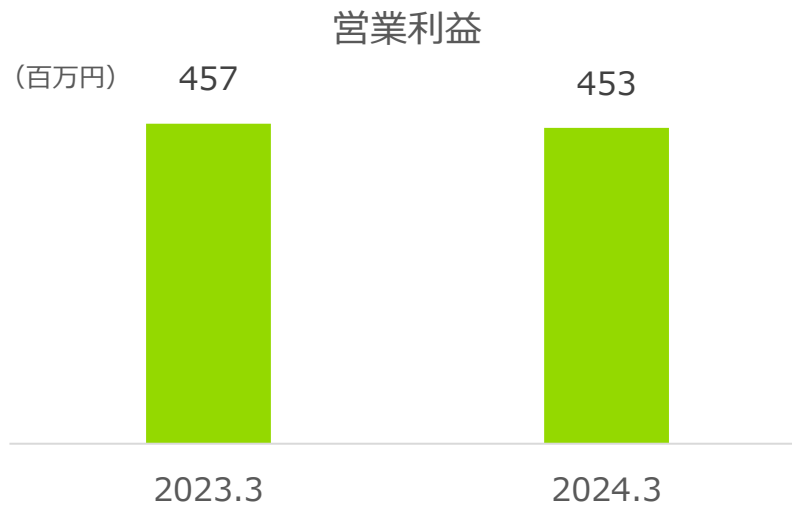
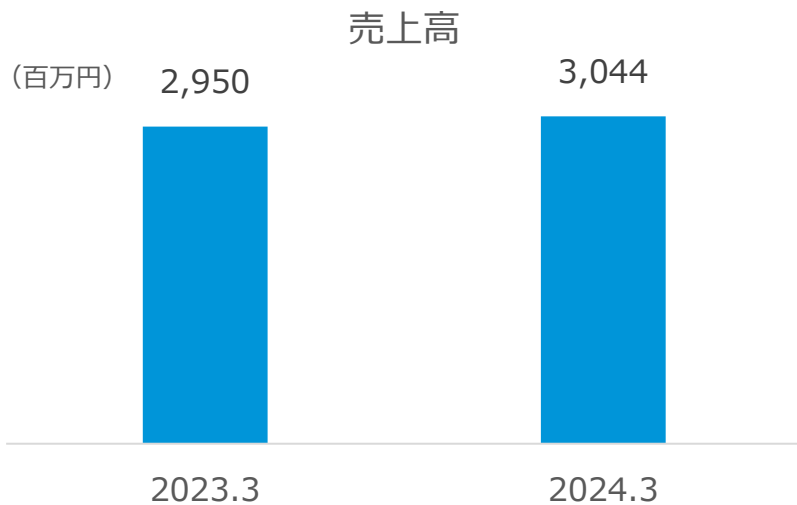
(単位：百万円)	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (予想)	前年同期比
売上高	3,566	3,623	+1.6
営業利益	368	381	+3.5
営業利益率	10.3%	10.5%	
経常利益	383	410	+7.1
経常利益率	10.7%	11.3%	
当期純利益	256	238	-6.7

(1) 2024年セグメント別計画～総合接着樹脂加工事業

単位：百万円

	2023年通期	2024年 通期予想	前年同期比
売上高	2,950	3,044	3.2%
営業利益	457	453	▲0.9%
営業利益率	15.5%	14.9%	

➤ アジア中心に販路拡大に注力することで増収

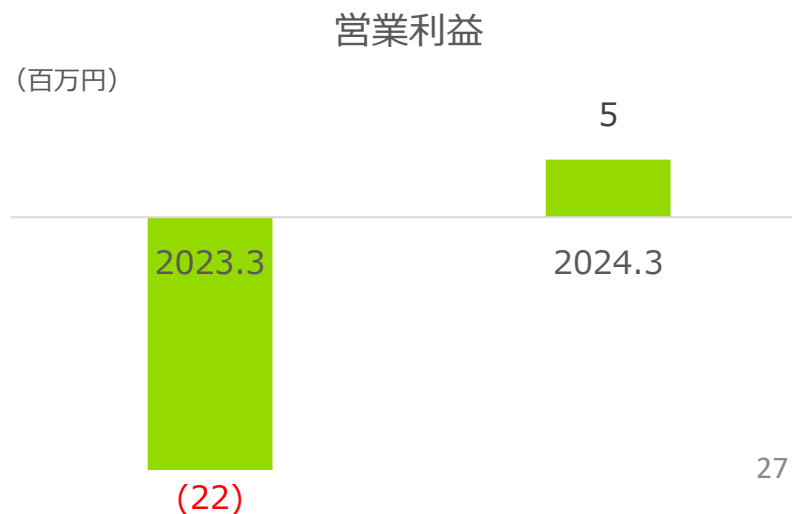
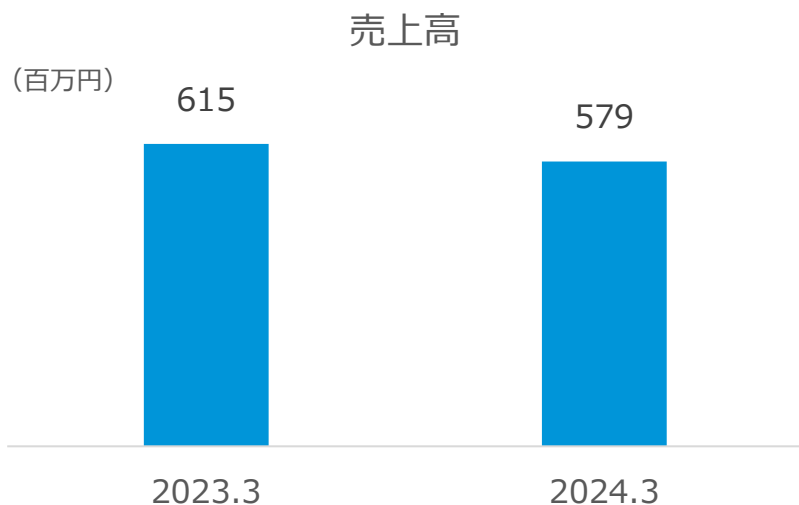


(1) 2024年セグメント別計画～特殊設計機械事業

単位：百万円

	2023年通期	2024年 通期予想	前年同期比
売上高	615	579	▲5.9%
営業利益	▲22	5	—
営業利益率	▲3.7%	1.0%	

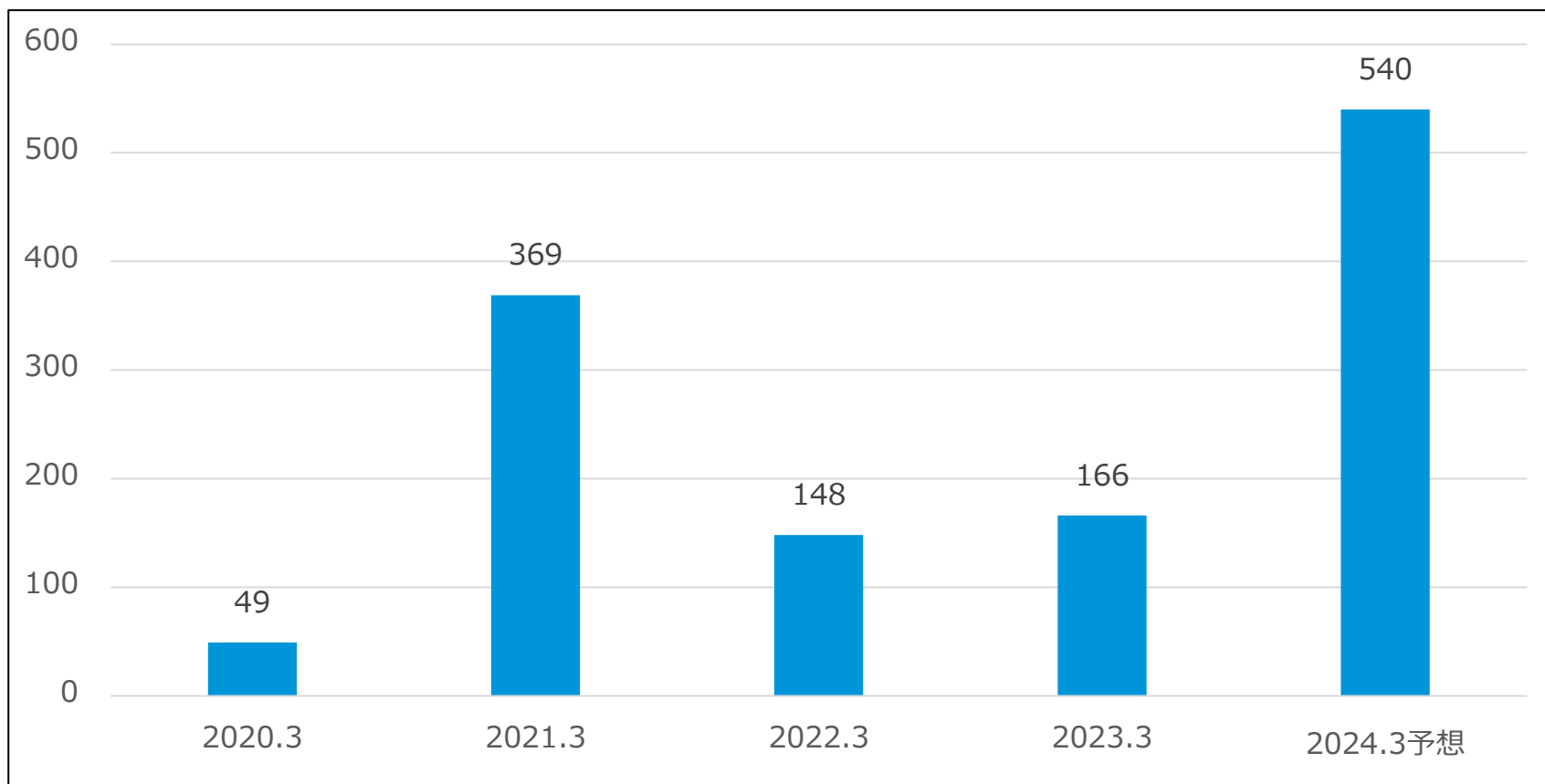
- 生産設備の更新・拡充及び生産工程の合理化による減価償却費等の費用が引き続き発生



(1) 設備投資 実績・計画

- 生産能力の拡張、生産・物流効率の追求、およびDXによる業務革新などを狙いとして、本社工場再構築に着手します。

(単位：百万円)



(2) 重点項目～多様性の推進

① 新人事制度の導入

定年60歳後も意欲と能力のある社員は定年後も管理職を任命する道を開ける制度を2022年に策定し、2023年から運用を開始します。ベテラン社員の豊かな経験と優れた能力を評価することで、モチベーションアップに努めます。

活躍の場を確保することで、知識・技能の伝承に取り組んでいきます。今後ベテラン層のスキルアップを目指していきます。

(2) 重点項目～多様性の推進

② スペシャリストの育成

2023年3月に資格手当制度の見直しを実施し、2023年7月より運用を開始します。専門資格の取得の促進に努めていき、会社が認定した資格については、資格取得にかかる受験金額全額を援助します。

③ 男性育児休業取得推進

現状男性育児休業の取得はありませんが、社内周知や該当者への取得促進を図っていきます。

(2) 重点項目～生産工程の効率化

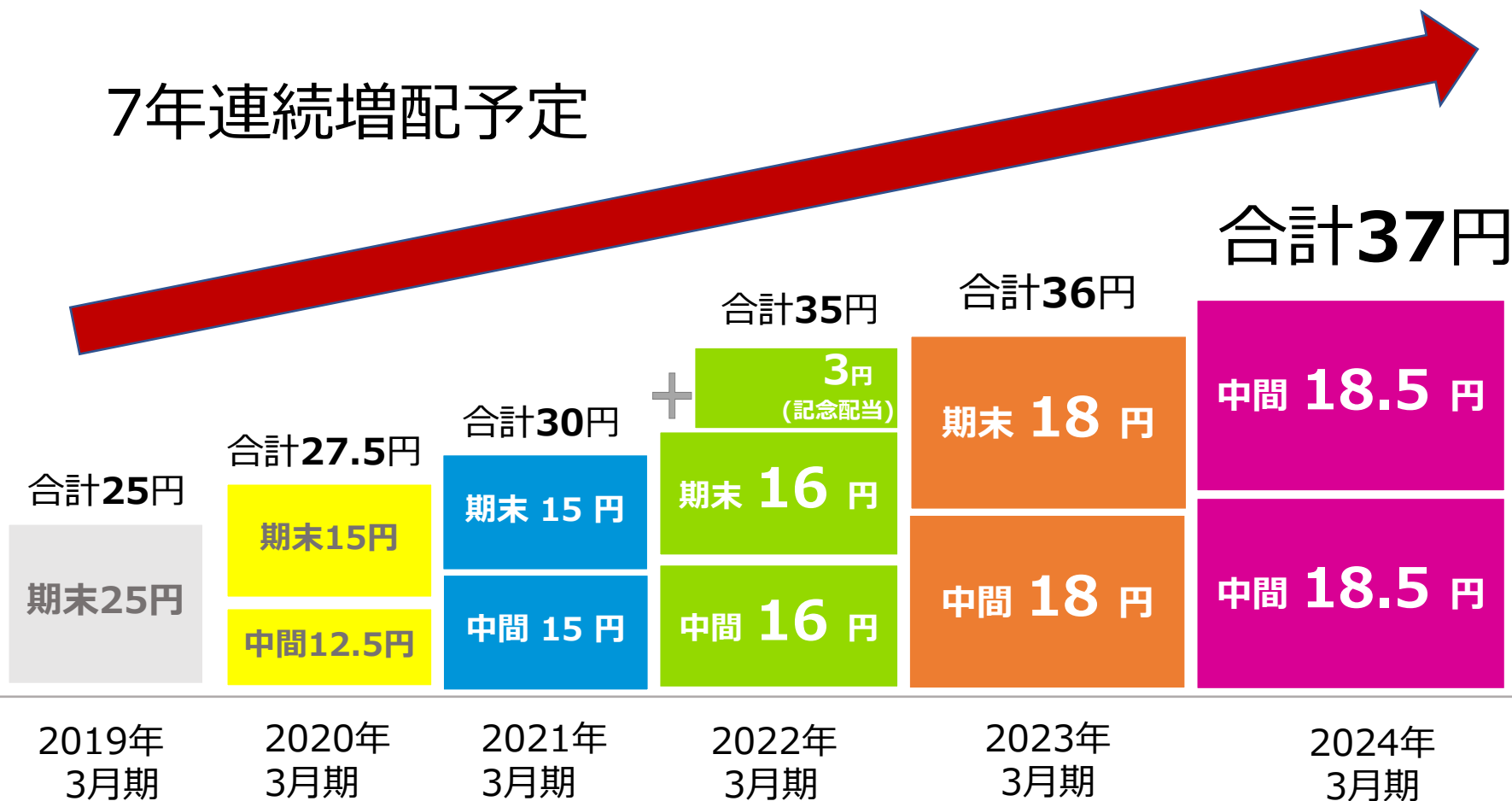
2023年6月より、生産能力の拡張、生産・物流効率の追求、およびDXによる業務革新などを狙いとして、二つの工場棟を全面的に建て替えると共に、他工場との生産分担の最適化を図る本社工場再構築の竣工を開始します。



(2) 配当政策

- 配当方針：将来の企業成長に必要な内部留保を確保しつつ、長期にわたり安定した配当を継続

7年連続増配予定



(2) 株主優待

保有期間に応じて、
QUOカードを贈呈しております。

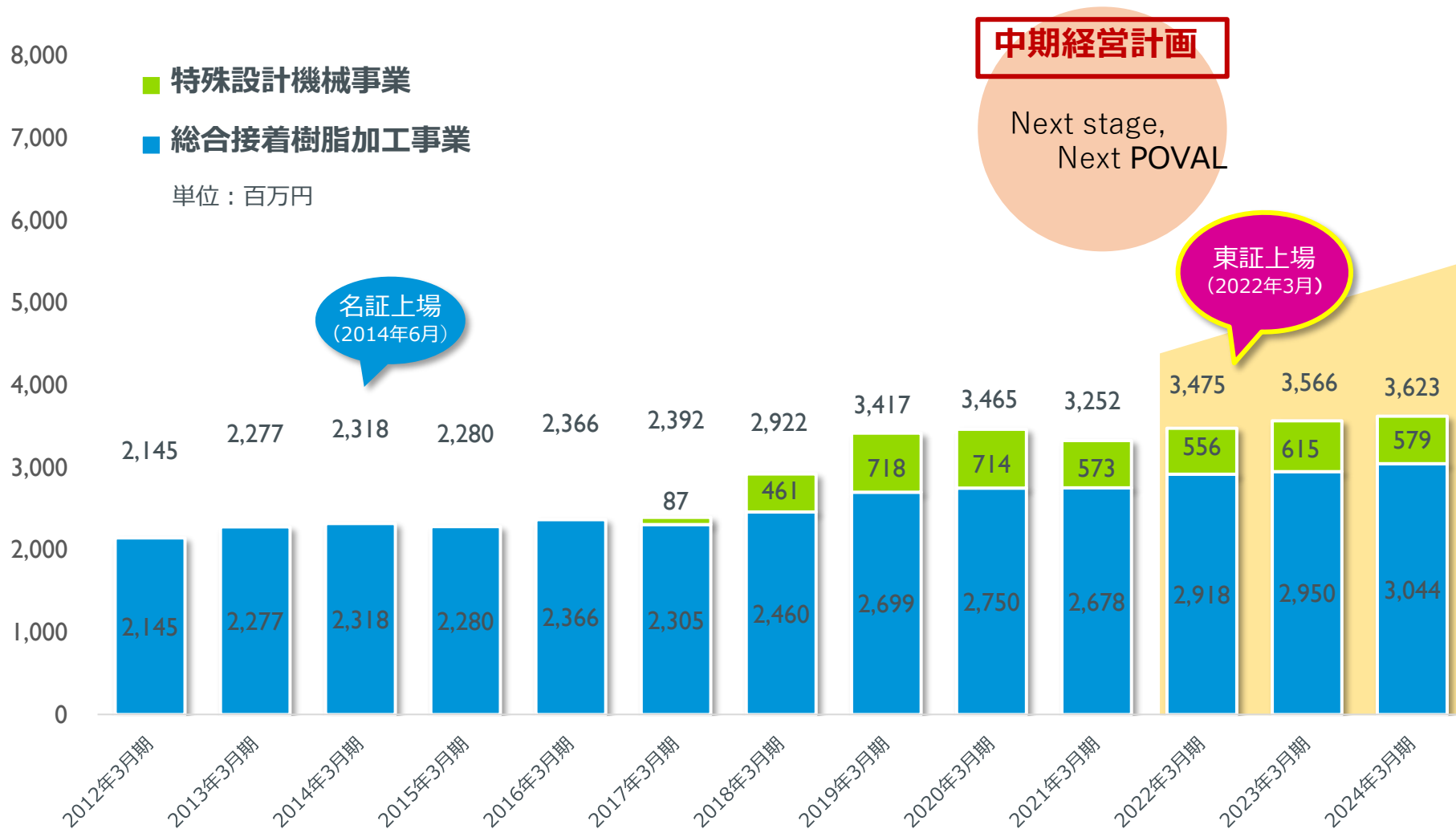


対象株主 (起算日： 毎期3月31日)	優待内容	
	継続保有 1年未満	継続保有 1年以上
100株以上 200株未満	1,000円分の クオカード	2,000円分の クオカード
200株以上	2,000円分の クオカード	3,000円分の クオカード

4 経営計画

中期経営計画進捗

中期経営計画



中期経営計画～Next stage, Next POVAL～

方針骨子

次のステージのための基盤づくり

<2012-2021> (第2創業期)

2014年6月
名証上場

事業の多角化

特殊設計機械事業の開始

長期ビジョン<2022-2030>

深い共感力と接着加工、素材加工、機械設計を駆使し、顧客の真のニーズを知り応えるソリューションビジネスをグローバルに展開していきます

<2022-2024>
機械事業とのグループ基盤づくり
ステージ

ワンストップ営業の推進

<2025-2030>
成長
ステージ

ソリューションビジネスの推進

- オンライン営業の強化
- 機械販売の強化
- ワンストップ営業の推進

生産の合理化

- 生産管理システムの導入
- 組織改革

グローバルの展開

- 中国工場の移転
- 海外市場の販路拡大

共感力の浸透

- 管理職研修の実施

成長事業・新規事業推進

- 要望に合う製品開発
- 車両用、メガネレンズ用研磨の開発
- 次世代半導体ウェハ用研磨の開発

サステナビリティへの取り組み

- ガバナンス強化
- サステナビリティ経営の検討

基本方針に基づき、次の成長ステージに向けての基盤づくりを行います。

中期経営計画の進捗②

中期経営計画課題	評価	実行項目
①ソリューションビジネスの推進		
1. オンライン営業の強化	◎	製品情報のホームページリニューアル実施
2. 機械販売の強化 子会社の技術者（機械）との同行営業	△	営業マンへの機械販売ノウハウの継承を最優先に実施
3. ワンストップ営業の推進 自社グループ内完結（ワンストップ）のメリットを最大限活用	△	将来的な需要増を見込み、設備投資（工場拡充）、人員増加を実施 ワンストップ体制の構築は後づけ
②グローバル展開		
1. 中国工場の移転	◎	中国工場の移転完了 （2021年9月移転完了）
2. 海外市場の開拓 商社同行、営業ツールの活用による アジア・ヨーロッパ市場の販路拡大	△	オンラインにて商談を実施 2023年より現地訪問を加えて新規開拓開始

中期経営計画の進捗③

中期経営計画課題	評価	実行項目
③成長事業・新規事業推進		
1. 要望に合う製品開発	○	営業活動に技術担当者の同行を推進
2. 車両用、メガネレンズ用研磨の開発	△	サンプル品の出荷
3. 次世代半導体ウェハ用研磨の開発	△	サンプル品の研磨テストを実施
④生産の合理化		
1. 生産管理システムの導入	△	在庫管理システムの稼働 生産管理システムの導入検討
2. 組織改革	◎	生産効率を図るための部署を新設 (2021年10月完了)

中期経営計画の進捗④

中期経営計画課題	評価	実行項目
⑤共感力の浸透		
1. 管理職研修の実施 管理職研修の実施により組織力強化	◎	管理職研修→計6回継続実施済 営業研修→計6回継続実施済 今後も研修を予定
⑥サステナビリティへの取り組み		
1. ガバナンス強化	◎	ガバナンス強化に向けた研修実施 継続中
2. サステナビリティ経営の検討	◎	サステナビリティ委員会を設置し推進 (年2回実施)

中期経営計画の進捗⑤

サステナビリティの取り組み

主要指標（重要評価指標）		2024年3月期目標	関連する主なSDGs	2023年3月期進捗
生産性向上	各事業における生産性	① 向上率6%	12 つくる責任 つかう責任	作業改善見直し (材料歩留り、作業工数)
環境(E)	電気使用量の削減 材料効率の向上	① 光熱費2%削減 ② 材料費比率1.5%削減	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	① 工場のLED化 ② ロス改善と見直しの 取組み開始
社会(S)	働きがい指標	① 有給取得率の向上 ② 労働時間の適正化 ③ 男性の育休取得 ④ 女性管理職率 2% ⑤ 外国人就労者の採用	3 すべての人に 健康と福祉を 5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も 10 人や国の不平等を なくそう	① 57.4%から68.0%へ ② 平均残業時間4.5時 間から3.9時間に削減 ③ 0% ④ 候補者育成中 ⑤ 全体で9名
ガバナンス (G)	重大な 法令違反件数	① ハラスメントのない 職場	16 平和と公正を すべての人に	グループ全体での 研修の定例化



免責事項

・本資料は、株主・投資家などの皆さまに当社の経営情報、財務状況等の情報をご理解いただくことを目的としており、当社の株式の購入、売却など、投資を勧誘するものではありません。投資を行う際は、ご自身のご判断で行うようお願いいたします。また内容についていかなる表明・保証を行うものでもありません。

・本資料に掲載している情報のうち過去の事実を除き、現在入手可能な情報を踏まえた当社経営者の判断に基づくものです。従って、実際の業績は、種々の要素の変化により大きく異なる結果になりうることにご注意ください。

以上のことをご理解いただき、投資に関する決定をされる場合には、当社が発行する有価証券報告書などの資料をご覧いただくなどして、ご自身の判断で行われるようお願い致します。

- ・ I R についてのお問い合わせ先
ポバール興業株式会社 管理部 経営企画課
電話番号：052-411-1050
U R L : <https://www.poval.co.jp/>